

## 令和2年度 事業報告

### 1. 概要

我が国が超高齢社会に向かって急速に歩みを進めている中で、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、ますますその役割を果たすことが求められております。

今まで、40年以上にわたって高齢者の就業を牽引しているシルバー人材センターの果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、人々の暮らしや社会全体の経済活動に大きな影響をもたらした1年となりました。

このような厳しい状況の中、仲善広域シルバー人材センターは、コロナ禍の中での新たな就業拡大と減少傾向にある会員確保などの取り組みを強化し、独自に地域性を生かした「中長期計画」に沿って、業績悪化を最小限に止めて安全就業指針など就業環境の見直しと適正就業、事務改善を中心とした組織改革を進めていくこととなりました。

一方、独自ボランティア事業である高齢者移動販売「ちょこっと号」では、コロナ禍の中、買い物難民である一人暮らしの高齢者へのサービスを万全の態勢で続行したほか、高齢者生きがいサロン「仲善広場」は非常事態宣言期間を除き、昼食を持ち帰りの弁当に切り替えるなどして奉仕活動を継続して行い、基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を地域で生かし、「地域のお役立て」を掲げたシルバー人材センターの構築に努めてまいりました。

令和2年度の実績を見ますと、全国的な会員数の大幅な減少傾向の中、年度末会員数は1,044人で前年と比べ25人程度の減少にとどめることができました。

受注契約金額は、対前年度比受託・派遣と合わせて約9%の減となり、コロナ禍の中ではあったものの従事会員に罹患者を出すことなく最小限の成果となりました。

また、会員数の確保・増加のため、本年7月より各地区センターでの説明会を開催して各月3回の開催、構成市町社会福祉協議会の「社協だより」への広告を年間を通じて掲載。

しばらく休止していました女性会員のための催し、「女性のつどい」の復活、構成市町の広報紙に毎月入会案内の掲載など普及啓発に努め、発注者や会員へのアンケート調査を基に地域ニーズの掌握に努め、シルバー事業運営に反映させました。

以下、主な事業活動について報告いたします。

### I シルバー人材センター事業

#### 1 請負・委任による就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図ると共に、活力ある社会づくりに寄与するため、臨時的短期的な仕事の就業機会を提供すると共に、多くの会員が就業機会を得られるよう努めました。

## 2 職業紹介事業

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務を希望する高齢者に職業紹介をすることにより社会参加の喜びや、生きがい対策を図れる機関としての役割を果たすため、職業斡旋事業を本年度新たに取り組みました。

## 3 労働者派遣事業

香川県シルバー人材センター連合会仲善広域事務所として、派遣労働を希望する会員を対象に、労働者派遣による就業機会の提供に努めました。

## 4 講習会の開催

高齢者の資質の向上のための技能、技術、知識の取得やサービスの向上を図るため、より広い分野での仕事の確保と提供を目的として香川県シルバー人材センター連合会主催の技能講習会、またセンター主催の講習会を開催しました。

講習会の開催

・造園（植栽・剪定）講習会	延67名	・刈払機作業安全衛生講習会	延18名
・介護施設調理補助講習会	延43名	・安全運転講習会	延42名
・高齢者向けの料理講習会	延10名	・交通安全講習会	延27名
・学童保育講習会	延30名	・清掃スタッフ講習会	延55名
・スマホ講習会	延42名		

## 5 普及啓発活動

シルバー事業の理念を周知し信頼を得られるよう、行政機関の広報紙・行政放送（オフトーク通信）、会員情報紙を広く活用した周知や誰もが気軽に見られるホームページを更新し、普及啓発に努めました。

また、1年を通じて成市町の社協だよりに広告の掲載も行いました。

- (1) イベント参加 ・女性のつどい 顧問弁護士による「遺言のすすめ」講演会
- (2) 会議の開催 ・シルバー事業推進委員会 開催回数4回  
・女性会員活動委員会役員会 開催回数4回
- (3) 広報紙掲載 ・善通寺市・まんのう町・琴平町の広報紙 掲載回数12回
- (4) 会報の発行 ・発行回数2回
- (5) 有料広告掲載（補助事業） ・1市2町社会福祉協議会「社協だより」掲載

## 6 安全・適正就業の推進

会員の就業中または就業途上における事故防止のため、安全パトロール指導員によるパトロールや、安全運転意識の向上を図るため、安全適正就業講習会の実施や、パンフレットの配布を行い、安全就業や事故防止対策に対する意識高揚に努めました。

- (1) 会議の開催 ・安全・適正就業委員会 開催回数3回（内書面1回）
- (2) 講習会の開催 ・交通安全講習会 参加者27名

## 7 調査研究

発注者や会員へのアンケート調査を実施し、シルバーに対する意見・要望・苦情を知ると共に会員から事務局に対して一層改善の要望や指摘を伺い今後の事業運営に反映させ、地域から信頼されるセンターを目指すため調査を実施しました。

## 8 就業開拓と就業率向上

コロナ禍の中、シルバー事業にふさわしい新規就業の開拓、高齢者のデジタル化の推進とITリテラシーの向上を目的に補助事業によりスマホ教室補助員などの人材育成・確保に努めました。

また、適正就業を目的として会員への公平・適正な就業機会を提供するため新たな情報提供の媒体のシステム構築と会員への周知をおこないました。

## 9 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に月1回の入会説明会を本年度7月より各地区センターで開催し、併せて就業等に係る相談や情報提供の機会を月3回に増やしました。

- ・入会説明会の開催 開催回数81回、入会者数107名

## 10 社会参加活動の推進

会員の社会参加活動として「できることを」、「できる範囲内で」行う社会活動として、地域の公園や公共施設の清掃活動や福祉施設への慰問等を行い、会員相互の連携意識の高揚を図りました。

- (1) 清掃奉仕活動
  - ・善通寺地区センター 参加者40名
  - ・まんのう地区センター 参加者24名
  - ・琴平地区センター 参加者21名
- (2) 「タッチの癒し」施設訪問 新型コロナ感染症予防のため施設訪問見合わせ

## 11 その他の事業

高齢者を対象にしたシルバー交流サロン「仲善広場」の運営や、買い物弱者を対象にした「移動販売」を実施し、地域住民とのふれあいを深めシルバー事業の拡大につなげました。

- (1) 「仲善広場」の実施 開催回数 14回 利用者 延 295名  
※緊急宣言期間中は開催を見合わせ、以後感染予防措置を講じて開催
- (2) 「移動販売」の実施 販売日数142日 利用者 延6,792名  
※事業目的により、市高齢者課と協議の上感染予防措置を講じて実施

## II 法人管理事業

### 1 会員の状況

令和3年3月末現在の会員数は、男性636名、女性408名、合計1,044名となっています。地区別では善通寺地区524名、まんのう地区344名、琴平地区176名であります。

### 2 公益法人制度の対応

平成24年4月1日から移行した公益法人運営は、関係機関の指導、助言のもと、健全な財政運営を図り、適切な財産管理をおこないました。

### 3 定時総会等の開催

- ・会議名 定時総会 開催回数 1回
- ・会議名 理事・監事合同役員会 開催回数 8回